

出版社	教科書名	海洋に関連する教科書の単元			該当ページ	備考(海洋に関連する用語の記載)	分野		
		大項目	中項目	小項目					
教育出版	中学社会 公民とともに生きる	第4章 わたしたちの暮らしと経済	2 生産のしくみと企業・金融	⑤市場のなかの社会的責任	144	海水面上昇	A 生活・健康・安全		
			3 財政と政府の役割	①財政が果たす二つの役割	146	港	A 生活・健康・安全		
		第5章 安心して暮らせる社会	2 これからの日本経済の課題	①環境問題への取り組み	168,169	排水、水俣病、埋め立て、自然海岸、水質汚濁	A 生活・健康・安全		
				①「持続不可能」から「持続可能」へ	181	北極海の海水	A 生活・健康・安全		
		第6章 国際社会に生きるわたしたち	1 国際社会が抱える課題	②「生命の星」地球を守るために	182,183	海、道路にせまる海、ツバル、海面が上昇、海拔、水没	A 生活・健康・安全		
				③暮らしと資源・エネルギー	185	波力	I 資源・エネルギー		
				⑥安全がおびやかされる現代	190	津波	A 生活・健康・安全		
				⑦生命をおびやかす食糧と水の不足	193	海水、海水淡水化施設	A 生活・健康・安全		
				2 国際社会を支えるしくみ	①国際社会を構成する国家	194	領海、12海里、排他的経済水域、200海里、海岸線、公海、海底	E 地球・海洋	
					②国際社会のまとめ役	195	歯舞諸島、色丹島、国後島、択捉島、北方領土、竹島、尖閣諸島、排他的経済水域、生物・鉱物資源	E 地球・海洋	
					③結びつきを強める国際社会	197	津波	A 生活・健康・安全	
		3 持続可能な社会の実現に向けて	①日本が世界にできること	201	北方領土	E 地球・海洋			
		裏表紙の付録	①日本が世界にできること	203	津波被害	A 生活・健康・安全			
		序章 私たちと現代社会	5 グローバル化の時代	口絵4	津波	A 生活・健康・安全			
		清水書院	新中学校 公民 日本の社会と世界	第1編 私たちの生活と政治	第1章 人権の尊重と日本国憲法	第1節 民主政治のはたらき	25	領海、	E 地球・海洋
第2節 基本的人権の保障	38					漁業	A 生活・健康・安全		
第3節 人権思想の新しい展開	50					鞆の浦、港湾、埋め立て	A 生活・健康・安全		
第2編 私たちの生活と経済	第2章 生産のしくみと企業			第3節 国境をこえる経済	125	東シナ海、	E 地球・海洋		
				第4章 社会保障と福祉の充実	第2節 暮らしの向上と国民福祉	148	水俣湾、水質汚濁、排水	A 生活・健康・安全	
第3編 国際社会を生きる	第1章 こんにちはの国際社会			第1節 国際政治のしくみ	156	領海、経済水域、海底、海中、鉱物・漁業資源、沿岸国、12海里、200海里、公海、大陸棚、深海底	E 地球・海洋		
					157	領土問題、択捉、国後、色丹、歯舞群島、竹島、与那国島、沖ノ島、南鳥島、東シナ海、尖閣諸島、船舶	E 地球・海洋		
					170	海洋、水河、海面、上昇、海拔、モルディブ、マルタ、ツバル、水没	H 環境・循環		
					171	南太平洋、ツバル、ナウル、キリバス、海岸浸食、浸水、水没	H 環境・循環		
					172,173	サンゴ、ラムサール条約	H 環境・循環		
資料					175	水質汚濁	H 環境・循環		
					211	水質の汚濁	H 環境・循環		
					12	第五福竜丸	E 地球・海洋		
帝国書院	社会科 中学生の公民			第1部 私たちと現代社会	1章 私たちの現代社会の特色	資料 第二次世界大戦後の歩み	12	第五福竜丸	E 地球・海洋
					第3部 私たちの暮らしと経済	4章 納税者として経済を考えよう	4 社会資本の役割と環境への取り組み	163	水俣湾、水俣病、メチル水銀
		第4部 私たちの暮らしと国際関係	1章 世界平和の実現をめざして	1 国家と国際社会	世界の子供たちは今	171	ツバル、高潮、海面、上昇、島国	A 生活・健康・安全	
					6 地域機構の役割と発展	172	排他的経済水域、公海、200海里、領海、12海里	E 地球・海洋	
						173	北方領土、納沙布岬、歯舞群島、水晶島、色丹島、国後島、択捉島、排他的経済水域	E 地球・海洋	
					183	アジア太平洋、	E 地球・海洋		
					192,193	海水、水質汚濁	H 環境・循環		
2章 私たちの地球をみつめて	2 地球温暖化とその国際的対応	194	北極海の氷の減少、海面の上昇	H 環境・循環					
日本文教出版	中学社会 公民的分野	公民との出会い			5	瀬戸大橋、明石海峡	A 生活・健康・安全		
		第2編 私たちの生活と政治	第1章 個人の尊重と日本国憲法	②日本国憲法と基本的人権	64	水質の悪化、潮受堤防、諫早湾	A 生活・健康・安全		
				③日本の平和主義	72	ソマリア沖、海賊対策、海上輸送、海上警備	A 生活・健康・安全		
		第3編 私たちの生活と経済	第2章 国民主権と日本の政治	政治へのとびら	78,79	干潟、海岸、埋め立て、石油化学コンビナート	A 生活・健康・安全		
					159	来島海峡大橋	A 生活・健康・安全		
			第3章 財政と国民の福祉	1 政府の仕事と財政	163	伊勢湾岸道路	A 生活・健康・安全		
	2 私たちの生活と政府のはたらき	165,166	洞海湾、八代海、メチル水銀、港湾	A 生活・健康・安全					

出版社	教科書名	海洋に関連する教科書の単元			該当ページ	備考(海洋に関連する用語の記載)	分野		
		大項目	中項目	小項目					
(日本文教出版)	(中学社会 公民的分野)	第4編 現代の国際社会	第1章 国際社会と人類の課題	1 国家と国際社会	182,183	領海、排他的経済水域、12海里、200海里、公海、公海自由の原則、北方領土、千島列島、択捉島、国後島、色丹島、歯舞諸島、竹島、尖閣諸島、沖ノ鳥島、南鳥島、与那国島、水産資源、鉱物資源	E 地球・海洋		
					196	インド洋	E 地球・海洋		
					204,205	海面の上昇、水没、モルディブ、アラル海	H 環境・循環		
					206,207	氷河、海水の減少	H 環境・循環		
					208	ラムサール条約	H 環境・循環		
					17	宮島、舟屋	D 歴史・民族		
自由社	中学社会 新しい公民教科書	序章 現代日本の自画像	03 日本の自画像		ii	地球深部掘削船、海底、津波、深海	I 資源・エネルギー		
			もっと知りたい 科学とは何だろう		6,7	海洋国家、排他的経済水域、海洋大国、海、領海	E 地球・海洋		
		3章 日本国憲法と立憲的民主政治	第1節 日本国憲法の国家像	もっと知りたい 新しい権利	69	水質の汚染	A 生活・健康・安全		
				25 平和主義と安全保障	72	海上を監視、ひゅうが型護衛艦、イージス艦	A 生活・健康・安全		
		4章 国民生活と経済	第2節 政府の経済活動	45 経済活動と政府の役割	124	港湾施設	A 生活・健康・安全		
				51 社会資本の充実	138,139	港湾施設、海岸整備	A 生活・健康・安全		
				52 環境保全と私たちの責任	140	水質汚濁、極地の水、海面が上昇	H 環境・循環		
		5章 国際社会に生きる日本	第1節 国際社会のしくみ		144	領海、排他的経済水域、水産資源、鉱物資源、漁業資源、鉱物資源、公海、公海自由の原則	E 地球・海洋		
					145	択捉島、竹島、八丈島、尖閣諸島、日本海、沖大東島、沖ノ鳥島、伊王島、小笠原諸島、南鳥島、国際海洋法、12海里、領海、200海里、経済水域、大陸棚拡張、東小島、東シナ海、漁船、北方領土問題、竹島問題	E 地球・海洋		
				もっと知りたい わが国の領土に関する問題	148,149	北方領土、歯舞群島、色丹、国後、択捉、オホーツク海、ウルップ島、千島列島、日本漁船、漁業資源、竹島、漁場、沿岸警備隊、尖閣諸島、EEZ、海底、東シナ海	E 地球・海洋		
				57 安全保障への勢力と日本	150	中国漁船、魚雷、中国駆逐艦、青函海峡、中国潜水艦、大隅海峡、沖縄近海、沖ノ鳥島、海洋調査、東シナ海ガス田、尖閣諸島問題、竹島問題、北方領土問題	A 生活・健康・安全		
				もっと知りたい 日本人拉致問題	163	能登半島、宇出津海岸	A 生活・健康・安全		
				58 自衛隊と日米安全保障条約	164,165	海上自衛隊、護衛艦、イージス艦、潜水艦、海兵隊、海軍	A 生活・健康・安全		
		第3節 世界と日本の安全保障		もっと知りたい 国連平和協力活動への取り組み	166,167	ペルシャ湾、海上自衛隊インド洋、オマーン湾、アデン湾、海賊、船団護衛、海賊対処法、ソマリア沖	A 生活・健康・安全		
				62 地球環境問題と国際協力	174,175	海洋汚染、海洋生物生態系、海産物、海面上昇、海面温度上昇、海面の上昇、小島嶼、水没	H 環境・循環		
				63 日本の国際貢献	179	海賊	A 生活・健康・安全		
			裏表紙	裏表紙		竹島、日本海、絵と郎党、北方領土、国後島、領海、接続水域、排他的経済水域、八丈島、小笠原諸島、硫黄島、南鳥島、沖ノ鳥島、沖大東島、与那国島、尖閣諸島、高潮線、低潮線、内水、12海里、24海里、200海里、排他的経済水域、公海	E 地球・海洋		
		育鵬社	中学社会 新しいみんなの公民	第1章 私たちの生活と現代社会		世界平和の実現に向けて	3,4	北方領土、竹島、東シナ海大陸棚、尖閣諸島	L 国際
					第2節 私たちから見える現代の日本社会	年表 戦後日本の歩み	16,17	北方領土、第五福竜丸、ピキニ水爆被災事件、領海12海里・漁業水域200海里	A 生活・健康・安全
				第3章 私たちの生活と政治—民主政治と政治参加—	第3節 現代社会をとらえる見方や考え方	2 地域社会と私	30	養殖ワカメ、	J 経済・産業
	3 国家と私				33	漁業補償	J 経済・産業		
第5節 地方自治と住民	第1節 民主政治のしくみ			4 世論とマスメディアの役割	81	インド洋、海上自衛隊	A 生活・健康・安全		
				2 地方公共団体の移り変わり	100,102	東京湾アクアライン、瀬戸内海	A 生活・健康・安全		
第4章 私たちの生活と経済	第1節 消費と経済			2 経済の発展と産業構造の変化	109	漁業、サンマ、根室花咲港	J 経済・産業		
				3 環境の保全	146	熊本水俣病、新潟水俣病、有機水銀	A 生活・健康・安全		
	第6節 私たちの生活と福祉			2 日本経済のこれから	151	日本近海、メタンハイドレード	I 資源・エネルギー		

出版社	教科書名	海洋に関連する教科書の単元			該当ページ	備考(海洋に関連する用語の記載)	分野				
		大項目	中項目	小項目							
育鵬社	(中学社会 新しいみんなの公民)	第5章 私たちと国際社会の課題	第1節 国家と国際社会	2 国家とは何か	156	12海里、200海里、排他的経済水域、公海、領海、漁業資源、鉱物資源、沿岸国、公海自由の原則	E 地球・海洋				
						157	竹島、北方領土、歯舞諸島、色丹島、国後島、択捉島、尖閣諸島、東シナ海大陸棚、与那国島、沖ノ島、南鳥島、海洋国家、船舶	E 地球・海洋			
				4 国際社会での協調	162	公海自由の原則	L 国際				
				7 日本の安全と防衛	168,167	イージス艦、海上自衛隊、護衛艦、潜水艦、東シナ海、海上保安庁、巡視船	A 生活・健康・安全				
				8 国際社会での日本の役割	171	海上自衛隊、ベルシャ湾、インド洋、ソマリア沖、海賊、船舶	A 生活・健康・安全				
					173	尖閣諸島、中国漁船衝突事件	A 生活・健康・安全				
				第2節 地球環境と人類	176,177	1 地球規模の環境問題	H 環境・循環				
				裏表紙付録	裏表紙	かけがえのない自然を守ろう サンゴ礁、ラムサール条約	H 環境・循環				
				東京書籍	新しい社会 公民	第2章 人間の尊重と日本国憲法 第3章 現代の民主政治と社会 第4章 わたしたちのくらしと経済 第5章 地球社会とわたしたち	1節 人権と日本国憲法	4 日本での平和主義	39	公海、海賊	L 国際
								4 住民参加の拡大	98	五島列島	A 生活・健康・安全
3節 地方の政治と自治	5 わたしたちの政治参加	101	三津浜、瀬戸内、漁場、漁港、海運、港町、魚市場				J 経済・産業				
4節 国民生活と福祉	5 公害の防止と環境の保全	138,139	水俣病、水質汚濁、八代海、メチル水銀、藤前干潟、伊勢湾、埋め立て、ラムサール条約				A 生活・健康・安全				
		147	海面の上昇、キリバス				H 環境・循環				
1節 国際社会と世界平和	2 国際社会における国家	150,151	領海、経済水域、漁業資源、鉱産資源、沿岸国、漁船、高校、公海自由の原則、12海里、200海里、公海、北方領土、千島列島、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島、竹島、尖閣諸島、与那国島、沖ノ島、南鳥島、島が水没				E 地球・海洋				
	5 新しい戦争	156	ソマリア沖、海賊、護衛艦、艦艇				L 国際				
2節 国際問題とわたしたち	2 地球環境問題	164	氷、海面が上昇、キリバス、ツバル、海抜、島国、水没				H 環境・循環				
	裏表紙	裏表紙	グレートバリアリーフ				H 環境・循環				